

(株)フクナガエンジニアリングがお送りする環境ビジネス情報誌

FECON NEWS

フェコニュース

2005.SPRING
vol.14 

株式会社フクナガエンジニアリング
<http://www.ecosoft.co.jp>




再生 ～今年フクナガは生まれ変わります～

金属リサイクル会社の3代目・福永政弘のもと出発して10年、リサイクル資源を収集・加工することだけに専念していたフクナガエンジニアリングは、リサイクル事業はもとよりエコソフトバッグの販売・エコソフトタイヤの開発も軌道に乗せるなど、「よみがえらせるフクナガ」へと成長を遂げました。そして今年は関東、さらに日本を飛び出し中国への進出が決定。「地球環境への貢献」という経営理念から生まれたエコソフトバッグが、より大きな市場を求めて羽ばたきます。中国進出は、私たちがずっと目指してきた「グローバルな視野での事業展開」への第一歩です。日本に比べ環境意識が低いといわれる国での社員教育など課題は山積みですが、「地球の環境保全に国境などは関係なく、現地で事業を行うことに意義がある」と私たちは考えるのです。

そのほかにも優秀な人材の確保、情報保護システムの構築、社員の育児支援制度の充実化などのプロジェクトも同時進行中。特に採用に向けては、優秀な人材を迎える土台として評価体制のさらなる透明化など人事制度の整備を進めています。さらに、経費の関係上、中小企業は環境対応が難しいという現状を打破し、より多くの企業が気軽に環境対策に取り組めるよう、製品の低コスト化にも注力。今後、環境対応をけん引していく企業となるため、またそれを実現できる社内体制を構築するため、2005年フクナガエンジニアリングは生まれ変わります。

contents

- 特集
最新ルポ
海を越え、山を越え、リサイクル資源は中国で蘇る
社員旅行2005 パワフルな街 上海
- エコソフトバッグの 
株式会社たねや
- フクナガ探検隊
リサイクル事業部 工場長
永田 展一 氏
- エコソフトバッグ紹介
- 株を上げる魔法のママ知識
「コンプライアンス プログラム」
- information
- 読者プレゼント
- 4コマ エコ太くん

CLOSE UP

トラックから荷物が降ろされるたび、もうもうと砂ぼこりが立ち込める。運ばれてきたのは日本では見たこともないほどボロボロのコンテナバッグ。日本で流行したカードゲームの透明フィルム袋を満載したトラックも入ってきて、リサイクル資源は時を置かずして山積みになった。調達先は中国国内のみならず、日本や韓国などアジア一帯に及ぶようだ。

ここは上海郊外にあるプラスチックのリサイクル工場。市内から車で約40分走るだけで、まるで別世界に連れてこられたような感覚におちいる。周囲には平屋が建ち並び、道路はまだ舗装もされていない。そんな一画に1000坪弱の敷地を構え、約20人の従業員が働いていた。しかも大半が20~30代の若者たち。冬の冷たい風が吹きさらしの工場内では、エプロン姿の女性たちが、日本では燃やしてしまうような使用済みコンテナバッグをリサイクルするため、印字部分を黙々と切り取っている。ほこりが舞っていてもマスクすらしていない。それが当たり前のような様子。予想はしていたが、労働環境の未整備が気になる。汚れているプラスチックを水洗いした後の水の行方も気になった。おそらくそのまま川に流しているのだろうが、資源の有効活用をしても環境を汚しては意味がない。他国のエコロジー意識の代償を中国の小さな工場が支払っている。そんな思いが込み上げてきた。先進国で定着しつつあるエコロジー。だが、それを本当の意味で実現するためには、廃棄物を出す側の意識を高めることが優先課題だと実感した。私たちにとって今回の経験は、「中国を始めとする提携先の人々とビジネスパートナーとしての絆をより深め、改善すべき点には積極的に協力していかなければならない」という意思を固めるきっかけとなった。今の時代、「自分の国さえ良ければいい」という考え方はナンセンスだ。「環境対応しない企業は生き残れない」。そんな時代が中国に訪れるのも時間の問題なのだから。

最新ルポ

海を越え、山を越え、 リサイクル資源は中国で蘇る

よみがえ

「ツアー旅行では見られない中国の素顔が見てみたい」「中国のリサイクル事情って?」。そんな社員の希望もあって、中国は上海へと出かけた今年の社員旅行。経済成長著しい上海の郊外でかい間見た、中国のプラスチック再生工場の今をレポートする。



↑従業員の大半が若者。「国は広大だが、生きていく場所は非常に狭い。日本の学生の就職難なんて比にならない」。

←プラスチックを200度以上の高温で溶融し、再生樹脂に加工していく。



↑無造作に積み上げられた資源の山々。

←吹きさらしの工場。ほこりや悪臭が立ちこめ、労働環境は決して良いとは言えない。

社員旅行 2005

パワフルな街 上海



↑中国といえばやっぱり円卓と上海ガニ。



↓公園の地面に黙々と字を書くおじさん、発見! さすが達筆。



↓雑技団のショーにドキドキ。



関西国際空港からわずか2時間あまり。真冬の上海は寒かった。だが同時に熱かった! 噂通りのパワフルな街で本場の中華料理に舌鼓をうち、88階建てのビルの最上階から夜景を眺め、雑技団を観賞し、リアモーターカーに乗り...と上海を丸かじり。その中でも一番印象に残ったもの。それは料理でもど派手なビルでもなく、そこに暮らす面白い人々だった。例えば飲食店、どの店員さんもとにかく無愛想。その徹底ぶりには不快を通り越して心地良くなさ感じたくらい。かと思いきや、都心の公園には地面に書をたしなむご老人。よく見れば、えらく遠いところから延々と達筆な作品が続いている。その人だけではなく、周りにい

る人々がみな、思い思いに自分の時間を楽しんでいる。引っ込み思案な日本人に対して、我が道をいく中国人という話をどこかで聞いた覚えがあるが、ここまでとはかなりのカルチャーショック。そんな72時間足らずの旅が終わろうとしていた時、さらに強烈なできごとが...。お土産を買いにばらけていた社員が(愛妻にチャイナドレスを買って帰った者もあり)集まると、それぞれが下げている土産物袋にはそろってホームセンター「コーナン」の文字が。中国になぜコーナン? そしてどの店もなぜコーナン? 真相はさておき、熱気と活気に満ち溢れた上海パワーをいただいて、フクナガ社員も新年早々パワーアップ! みなさんも元気をもらいに訪れてみてはいかが?

エコソフトバッグの①

https://shop.taneya.co.jp/index.php
TEL 0748-37-5978

株式会社 たねや (CLUB HARIE)



エコソフトバッグがつなく、みんなの①。今回は、滋賀県近江八幡市に本社を置く、老舗菓子メーカーの株式会社たねや。製造過程で出る廃棄物の運搬、保存袋としてエコソフトバッグを活用する同社の、エコロジー対策を徹底取材。

たねやは明治5年に菓子舗として創業し、現在は和菓子・洋菓子ともに人気の老舗菓子メーカーだ。大阪はもとより、首都圏内の有名百貨店に出店するなど、経営は順調に伸びてきたが、それにもなって製造過程で出るもなかの皮やバームクーヘンの切れ端など動植物性残渣※の量も当然増加している。そこで3年前からこの問題に取り組んでいる同社エコロジー推進室の額田氏に話を聞いた。

「当初は情報も少なく、また企業内の現状も把握しきれなかったため、削減方法を模索する日々でした。そんな中、バームクーヘン工場の担当者が廃棄物の処理費を減らすため、熱乾燥処理ができる機械を購入しようとした際に、販売業者が『豚の飼料として使いたい』という養豚場を紹介してくれたんです」。



額田隆義氏

総務部エコロジー推進室室長

エコロジー推進室のスタッフは現在額田氏ただ一人。「気になるところがたくさんあっても、手が回らない状態です。でもこれが『天職』だと思えば楽しいことも一杯ありますよ!」。



たねやの洋菓子ブランド「CLUB HARIE」で廃棄される、バームクーヘンの切れ端をエコソフトバッグで保存。



数日後には山盛り。まだまだおいしそう…。



熱乾燥処理をして粉々にする。この状態で、養豚場へ。

同氏はさっそく2軒の養豚場と契約を結んだ。その結果、1日800kg、月にすると18tもの食品残渣が飼料化され、その運搬や保存袋としてエコソフトバッグが使用された。そのほか、浄化槽に負担をかける種だった廃棄シロップを滋賀県が運営するメタン発酵による発電システムの実験プラント材料としてテストしてもらったところ、発電率が23%もアップすることが判明。その後、廃棄シロップはすべて発電材料として提供し、一般廃棄物の排出量に限っては2年前の約55%にまで削減できた。


「エコソフトバッグもそうですが、事務用品などのグリーン購入も進めています。オーナーの強力なバックアップがあるのは有り難いことで、たねやの環境への取組みを紹介している『アースシード』というホームページのコーナーは、専務の案なんです。今後は『一人の百歩より、百人の一步』を実現するため、頑張りたいですね」。

※動植物性残渣…あめかす、のりかす、醸造かす、醱酵かす、魚及び獣のあらなど食料品製造業、薬品製造業または香料製造業において原料として使用した後に発生する、動物または植物由来の不要物。

たねやの企業内保育園
おにぎり保育園

働く女性が急増し、保育所に預けられる子どもが増えている。それと同時に保育所不足が発生し、選択の余地のないまま、空いている保育所に子どもを任せざるを得ない母親も多い。そこでたねやは、自社で働く女性を対象とした「おにぎり保育園」を開園。教育方針は、「五感の育成」。自然のものを使って、どう遊ぶかを考える力を養わせようと、園内にはブランコや滑り台といったありきたりの遊具は一つもない。そして、3時のおやつはおにぎりや煮干。噛むことが一番大事と考える社長のアイデアだ。

フクナガエンジニアリングも、社員の育児支援制度の充実化を計画。女性が活躍できる職場環境が着実に増えてきている。



第2回 フクナガ探検隊

今回フクナガ探検隊が追いかけたのは、工場内を機敏に走りまわるリサイクル事業部の工場長 永田展一氏。現場ではいつもテキパキ元気一杯の彼が見せる意外な素顔とはいかに?!

INTRODUCTION



名称_永田展一氏
生息地_リサイクル事業部(工場長)

リサイクル事業部の工場長として多忙な日々を送る永田氏。以前はソフトバッグ事業部に所属していたが、3年ほど前にリサイクル事業部に配属。部下からの信頼と社長からの期待を一身に背負う工場長だ。

永田氏の1日はスクラップの積み込み、商品の仕分け、問合せ対応に見積書の作成…などなど、大忙し。そんな何でもこなせるスーパー工場長にも、新人時代の忘れられない大失敗があるという。「当時10tトラックの運転手をしていただいたのですが、ステンレスとアルミを間違えて出荷してしまったことがあります。社長に『回収してこい!』と一喝され、大阪から三重までトラックを走らせました。今考えると自分の失敗の尻拭いをさせることで、もう二度と同じ失敗を繰り返させないという社長の優しさだったんです。もちろん私も体で覚え

させるスパルタ工場長に成長しました(笑)」。仕事では厳しい一面も見せるが、プライベートでの意外な素顔を発見! 「休日の昼間は晩酌に備えて酒の肴をつくること多いです。自分専用の七輪で魚をあぶったりするんですが、夜まで我慢できずに明るいうちからほろ酔いなんてこともしょっちゅうですけど(笑)。旅行も好きで、去年はマグロを釣りに青森まで行きましたよ。海は荒れてるし、寒いし、釣れないし…でもそれがまた良いんですね」。何でも楽しめてしまう少年のような心を持った永田氏。さぞかしマ

メな人なのだろうと自己分析をしてもらおうと「いい加減なやつ」とのこと。いい加減が好い加減といったところか!? 好い加減さと内に秘めた情熱を武器に、これからもフクナガを熱くしていくに違いない。



捨てない時代のコンテナバッグ好評発売中!

ココがスゴイ!!

- ◆ 2.1kgの軽さで、最大耐荷量はなんと1トン!
- ◆ 回収時の運搬もラクラク
- ◆ 確かな強度と柔軟なフォルムで活用方法は無限大
- ◆ 使用済みプラスチックの再生利用で環境に優しい
- ◆ ベルトの色をイメージカラーのグリーンで統一
- ◆ サイズ・仕様のオーダーメイドもOK

好評
発売中



業種を問わず、たくさんみなさまにご愛用いただいている「ソフトバッグ」のエコ商品があるのをご存知ですか? 再生ポリプロピレンを原料に使用した地球に優しいバッグ、その名も「エコソフトバッグ」。リサイクル商品とはいえ従来品と変わらぬ利便性を発揮し、2.1kgという軽さに対して最大耐荷量はなんと1トン! 持ち運びも簡単で、資材・原料・製品・廃棄物などの仕分け・輸送・回収などに最適です。もちろん、活用方法に合わせてのオーダーメイド(納期約1ヵ月)もでき、使い方だけで作業効率が大幅UP!

さらに、リサイクル商品開発のほか、使用済みコンテナバッグの回収処理・補修・再使用も行っているの、処理にお困りの方はお気軽にご相談下さい。たくさん寄せられたお客様からの喜びの声が保証する、フクナガ独自のコンテナバッグ「エコソフトバッグ」を、御社でもぜひ。



(株)フクナガエンジニアリング ソフトバッグ事業部
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西5-13-30
☎0120-69-3632 FAX 06-6969-3633
E-mail info@ecosoft.co.jp
<http://www.ecosoft.co.jp/shop/>

エコ太くん



株を上げる魔法のマメ知識

人間の心理なんて、実はとっても単純なもの。話の合間にちょっとマメ知識を忍ばせれば、みんなに一目置かれちゃう可能性大! そんなあなたの株を上げちゃう今回の魔法のマメ知識は「コンプライアンス プログラム」。

急速な通信インフラの発展により、1~2年ほど前から「個人情報の保護」という言葉をよく耳にするようになりました。インターネットを介し伝えたい情報をメールで相手に送信するなど、昔に比べ格段に情報伝達の効率は良くなりましたが、その分機械まかせというリスクも大きくなっています。

今回ご紹介する「コンプライアンス プログラム」とは、法令などを守る、遵守する (compliance with the law) プログラムです。例えば、上記のような問題に対して企業が事故防止対策を決めて、みんなが守る

ことで「法律を守ろう、社会や他人に迷惑をかけるようにしよう」とするものです。

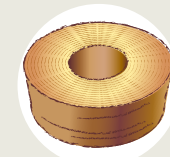
ちょっと面倒に思えるかもしれませんが、実はトラブルを未然に防ぎみんなが気持ち良く仕事ができる、いわば自分達を守ってくれるルールなんです。私たちが他人ごととはとらえずに取り入れていきたいですね。

筆者:NECシステムテクノロジー株式会社 生田 勝氏

「ゆゆゆ (ゆめとゆとりとゆーもあ)」がモットー。ただ今中国語を勉強中。

読者プレゼント

職場での3時のおやつにぴったりなバームクーヘンや、社員旅行のお土産の中国茶などを9名の方にプレゼント!! ご希望の商品名、会社名、氏名、年齢、住所、電話番号、フェコニュースの感想をご記入のうえ応募下さい。



バームクーヘン
1名様

A賞

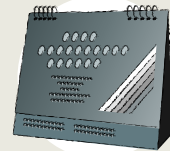
昔ながらの製法で、一層一層丹念に焼き上げた手づくりの味わいは絶品!

B賞

中国直輸入ウーロン茶
3名様



料理にもお菓子にも合う中国茶。豊かな香りがお口の中に広がります。



フクナガオリジナル
卓上カレンダー 5名様

C賞

シンプルで機能性に優れたカレンダーは、オフィスにもリビングにもぴったり。

応募方法 はがき、FAXで下記までお送りいただくか、フクナガエンジニアリングのホームページ内にあるプレゼント応募画面よりご応募下さい。
宛先 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西5-13-30 (株)フクナガエンジニアリング フェコニュース編集部
FAX番号 06-6969-3611
URL <http://www.ecosoft.co.jp/>
応募締切 3月25日(金)必着

Information Information Information Information Information Information

プライバシーマーク 取得に向け活動開始

日頃、ご注文をいただいているみなさまからお預かりする大切な個人情報。当社ではより安心して商品をご購入いただけるよう、個人情報の保護を目的としたプライバシーマークの取得に乗り出しました。快適な商品購入システムの構築に向け、体制を強化していきます。

(株)フクナガエンジニアリングと (株)エコソフトが合併

2004年12月1日付で(株)エコソフトは(株)フクナガエンジニアリングと合併し、(株)フクナガエンジニアリング・エコソフトタイヤ事業部に生まれ変わりました。今後も、変わりなくサービス向上に努めさせていただきます。



発行元: (株)フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL 06-6969-3631 (代)
FAX 06-6969-3611
E-mail info@ecosoft.co.jp

●今後フェコニュースの送付が不要なお客様へ●
お手数ですが、「今後フェコニュースの送付を必要としない」との旨を電話・FAX・E-mail等でフェコニュース編集部までご連絡下さい。

AFTERWORD

好奇心旺盛な私たちの質問に、なんでも実践して見せて下さった(株)たねやの額田さん。そんな取材中の出来事。ある機械をおもむろに開けた額田さんは、次の瞬間、その中に入った豚さんのはんをバクリ! 衝撃を受けつつ食べちゃいました、私たちも。お味のほど

は、とっても美味。なぜならたねやさんのバームクーヘンを乾燥させただけだから…。廃棄物を飼料として「SAISEI」させ、コストの削減を成功させたたねやさん。ちょっとしたアイデアで御社もエコロジーを実現できるかもしれませんよ。

編集後記

